

「つながり」は、伊勢市、玉城町、度会町、南伊勢町から伊勢地区医師会への委託事業として、在宅医療と介護の連携に関する研修会の開催、情報共有ツールの作成、相談窓口、情報の提供などを行っています。委託元の市町から 2 回シリーズでコロナ禍における在宅医療介護連携事業について掲載していきます。

～伊勢市の在宅医療・介護連携の推進について～

伊勢市福祉生活相談センター 中村典代

伊勢市では、在宅医療と介護の連携強化に向け、在宅医療・介護連携支援センター「つながり」に委託を行い、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築しています。「つながり」では、専門職からの医療と介護の連携についての相談に対応し、ICT を活用した研修会や関係者会議等を行い、コロナ禍においても多職種との連携に向け様々な方法で取組みを進めていただいております。

また市では、令和 3 年 4 月から、「伊勢市福祉生活相談センター」を伊勢市役所本庁舎東館 2 階に新設しました。保健師・精神保健福祉士・社会福祉士・主任介護支援専門員などが、市民の複雑化・重層化した相談や制度の狭間の相談に応じ、高齢・障がいの地域相談支援センターや「生活サポートセンターあゆみ」、関係機関が連携し支援を行えるよう連絡調整を密に行っています。

7 月 1 日からは、従来の窓口や電話での相談に加え、市民の方が気軽に相談ができるよう、「LINE 相談」も始めました。「高齢・介護」、「障がい」、「その他福祉（生活困窮・ひきこもりなど）」の 3 つの公式アカウントを新たに開設し、誰もが相談しやすい体制をつくっています。「どこに相談したらいいかわからない」など内容が複雑化している場合は、当センターをご利用ください。

今後も、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅医療・介護連携支援センター「つながり」とともに、医療と介護の連携の推進に取り組んでいきます。

～コロナ禍でのつながり～

玉城町保健福祉課地域共生室 奥野彩子

こんにちは。玉城町保健福祉課地域共生室です。

昨年度に引き続き、日常業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策に追われ、大変な日々を送られていることと思います。一日でも早く収束されることを願うばかりです。

この世界中が新型コロナウイルスに翻弄される中、つながりでは ICT 環境をいち早く整備し、今までと変わりなくつながれる環境にあることに感謝しています。初めは ICT 環境に慣れないことも多々ありましたが、直接会えない分、今では会議、研修会、意見交換会等積極的に活用しています。

行政同士のつながりだけでなく、つながりを通してさらにさまざまな職種の方や事業所さんとの“つながり”が広がりました。

玉城町では、月に 1 回、地域ケア会議を実施しています。玉城町が目指す地域包括ケアシステムとは「どんな状態になっても、住み慣れた玉城町で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されること」です。ケア会議の中で地域課題を把握し、地域づくり、資源開発できるように積極的に意見を出し合い共有しています。地域ケア会議も新型コロナウイルス感染の影響を受け、中止したこともありましたが、最近 ICT を活用し、実施しています。

この誰もが予想しなかった新型コロナウイルス感染症対策はこれからも続くと思いますが、皆さんとともに乗り越えられるよう頑張っていきたいと思います。



伊勢地区内の、医療機関・介護事業所で要用に活躍している専門職から各職種の仕事内容についてシリーズで紹介していきます。つながり便り第5号は理学療法士の仕事内容からリレーが始まります。

～理学療法士とは～

玉城町国民健康保険 玉城病院

理学療法士 川面博哉

理学療法士は、加齢や病気、怪我や障がいなどで体がうまく動かせなくなった人たちのリハビリテーションを行い、回復の支援をさせていただく仕事です。

リハビリの専門職としては理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がありますが、理学療法士は、主に患者様の座る・立つ・歩くなど、体の基本動作を担当し、筋力訓練や動作訓練などで実際に体を動かしていただいたり（運動療法）、温熱や電気を用いて痛みをとったり、筋肉を動かしたり（物理療法）といった手段での治療・リハビリを行います。また、住宅環境を整えたり、適切な歩行補助具をご提案したりすることで、より安全な生活を送るお手伝いもさせていただきます。

理学療法の直接的な目的は運動機能の回復にあります。運動機能を回復することで排泄や入浴などといった日常生活動作（ADL）の改善を図り、最終的には生活の質（QOL）の向上を目指します。加齢や病気、怪我や障がいなど何らかの原因で座る、立つ、歩くなどの動作が不自由になると、ひとりでトイレに行けなくなる、着替えができなくなる、食事が摂れなくなる、外出ができなくなるなどの不便が生じます。これらの動作を一人でできる、あるいはより少ない介助量で行っていただけるようになることが、患者様ご本人や、介護を行っていただく方よりよい生活に繋がっていくものと考えています。

医療、介護の現場では様々な職種が各々の役割を果たしていますが、理学療法士も治療の過程でリハビリに限らず様々な専門職との連携をとっています。患者様の体の動きや生活動作で難しいことがあった際は、ぜひリハビリの専門職にお声掛けください。

研修会・講演会・協議会の予定

【相談窓口】

専門職から多職種連携に関する相談を、電話・Fax・メールで受け付けています。

相談日 : 月～金
(祝日・年末年始・夏季休業日を除く)
相談時間 : 9時～17時

10月	10月7日(木)18時30分～(ライブ) 10月15日～10月29日 YouTube 録画限定配信 第2回多職種研修会つながり 認知症があたらしいまちを作る ～社会資源としての「スローショッピング」～
11月	11月4日(木)18時30分～(ライブ) 11月12日～11月26日 YouTube 録画限定配信 第3回地域研修会 「認知症の方の行動の意味を知ろう」
1月	1月28日(金) (予定) (YouTube 録画限定配信) 令和3年度住民啓発講演会 ACP (人生会議) について予定しています 行政テレビ (各市町の広報で確認してください)

つながり公式 LINE アカウントを登録しましょう。

研修会開催・つながり
事業などをお知らせ
しています。



伊勢地区つながり
LINE 公式アカウント
友だち登録

2月	2月3日(木) (予定) 18時30分～(ライブ) YouTube 録画限定日程未定 第3回多職種研修会 つながり 認知症・多職種連携の研修予定
----	---

令和3年度から、病院や各事業所への研修会などのご案内は一斉メールで送信しています。また研修会を申し込んでいただいた方へは、研修参加 URL を自動で返信するとともに、研修会参加証についてもご希望の方へ発行いたします。詳しくはつながりホームページをご覧ください。